

図書館便り 10月号



CLICK しあわせ電子図書館

CLICK 新宮中図書館蔵書検索「カーリル」

量子力学100年

先日、今年のノーベル賞が発表されました。自然科学3賞のうち、生理学・医学賞に「制御性T細胞」を発見した坂口志文氏を含む3名が、化学賞に「金属有機構造体」を開発した北川進氏を含む3名が選ばれました。

物理学賞には「量子トンネル効果」を実証した米国人科学者3名が選ばれました。このことは、量子コンピューターの開発に大きく寄与しました。

折しも今年は、「量子力学」の誕生から100年となります。それまでの物理学を「古典」にしてしまった全く新しい「量子力学」は、アインシュタインの「一般相対性理論」とともに現代物理学の土台となっています。

参考『Newton 2月号』（ニュートンプレス）



『12歳の少年が書いた
量子力学の教科書』

近藤龍一／著（ベレ出版）
請求記号 421コ

10歳から独学で学んできた著者が、入門書と専門書の間を埋めるべく12歳で書いた本書。量子力学への一歩を促す一冊。



先日の文化週間では、皆さんのこれまでの学びや努力の成果が十分に表現されていました。全校をあげて大きな行事を成功させようとする皆さんの姿勢は、本当に素晴らしかったです。

さて、10月27日から11月9日は読書週間です。次はぜひ、読書の秋を満喫してください。

読書週間の始まり

まだ戦争の傷跡が日本のあちこちに残る1947年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、出版社や書店、公共図書館が一丸となり、さらにマスコミの協力を得て、第1回「読書週間」が開催されました。それから70年以上が経ち、今や読書週間は全国に広がり、日本は世界で有数の「本を読む国民」の国となりました。



□10月27日(月)～11月14日
(金) 貸出冊数 1人3冊まで

□11月8日(土)・9(日)
町立図書館「図書館まつり」
詳細は、別紙のチラシや町立図書館HPをご覧ください。新宮中・新宮東中の生徒がデザインしたブックカバーも配布されます。

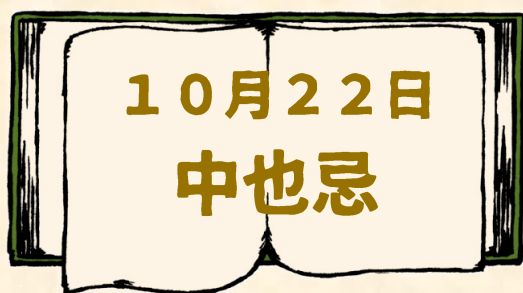
□11月11日(火)～11月28日
(金) 新宮中読書月間
さまざまな企画を準備中。
やってほしい企画があれば要望BOXで受け付けます。





連載企画

❖本ごよみ❖



『中原中也』

青木健／編著(河出書房新社)
請求記号 911ア

中原中也(1907~1937年)は山口県生まれの昭和時代の詩人。幼い頃から文学に親しみ、8歳のときに亡くなった弟を悼み、初めて詩を書き

ました。中学校では落第するほど詩に熱中し、なかでもフランスの詩人ランボーなどに強い影響を受けました。

1934(昭和9)年、27歳で詩集『山羊の歌』を刊行。しかし、結核性の脳症により、30歳の若さで病死しました。

詩人として活躍した時期は短かったものの、死後評価が高まり、近代日本を代表する詩人のひとりとされています。

青春期の若者の心情を叙情豊かに表した彼の詩は、特に皆さんのような若い世代の共感を呼ぶことでしょう。

出典⇒『ポプラディア情報館 日本の文学』西本鶏介／監修 『ポプラディアプラス人物事典』今泉忠明／監修(ポプラ社)



さて、日本でもすっかりおなじみになったハロウィーン。本来は、キリスト教の祝日「^{ばんせい}万聖節(11月1日)」の前夜祭です。もともとは古代ケルト人が行っていた、秋の収穫を祝い、悪霊を追いだすための祭りが、キリスト教にとりこまれました。出典⇒『総合百科事典ポプラディア 8』(ポプラ社)

仮装して盛り上がるのも良いですが、秋の夜長に読書で気分を高めてみてはいかがでしょうか。



今月の新着本

『ハロウィーンの料理帳
魔女と吸血鬼のちょっと不気味な30のレシピ』

ヴァンサン・アミエル／著
熊谷久子／訳(原書房)
請求記号 596ア



パーティに参加する魔女や吸血鬼になったつもりで、テーブルを演出して楽しもう。前菜、主菜、飲み物からデザートまで30のレシピを収録。



(左)『ハロウィン・パーティ』
アガサ・クリスティー／著 山本やよい／訳
(早川書房) 請求記号 933ク

ハロウィーンのパーティで、少女が殺された。彼女は死の直前、殺人を見たことがあるとうそがいていた。口封じに殺されたのか？名探偵ポアロが真相を暴く！

(右)『墓守りのレオ』
石川宏千花／著
(小学館) 請求記号 913イ

墓守りを仕事とし、墓地に暮らす少年レオ。その数奇な生い立ちゆえに、墓地に集う霊たちと会話をすることができるレオが、心に闇を抱える人びとを救っていく。

